木材利用・普及啓発

香川県　高松市（保育所と家具職人をマッチング）

担当者連絡先
（部署）農林水産課林務係（氏名）池内・山田
（電話番号）087-839-2422
（メール）nousui@city.takamatsu.lg.jp

- 高松市では、市内産木材の流通が少なく、さらに利用の機会も低迷していることが課題となっている。
- このため、市内産木材の利用拡大をバックアップすべく、「高松市地域産木材活用木製玩具普及事業補助金」のもと、教育・保育施設を募り、制作した木製玩具を保育施設への導入支援する、「木育の促進」と「市内産木材の需要拡大」を一挙に図る取組を実施。

□　事業内容

市内産木材の玩具を子どもたちへ届ける

【対　象　者】市内にある民間の幼稚園、保育所、認定こども園等の教育・保育施設

- 教育・保育施設は市内産木材を使用したことが証明できる木製玩具を木工業者にオーダーし、購入したい木製玩具の購入費を補助する。

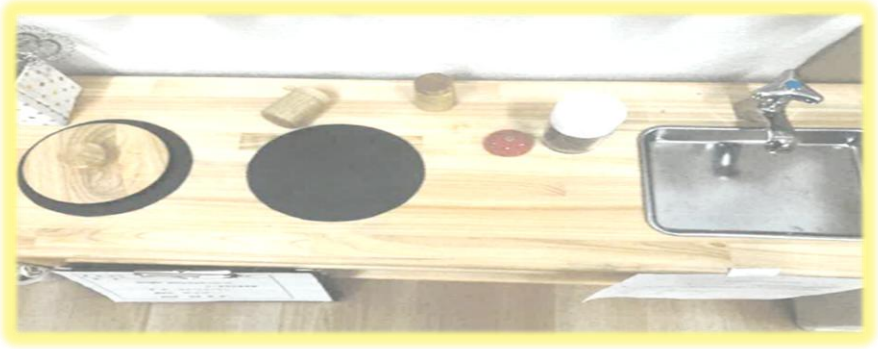
【購入費の補助金の額】上限額：２０万円（消費税及び地方消費税込額）
補助率：補助対象経費の３分の２
（1,000円未満の端数は切り捨てた額）

【事　業　費】518千円（全額譲与税）

【実　　績】４つの保育施設へ導入

□　取組の背景

- 高松市内産木材の普及が伸び悩んでおり、せっかく制作しても市民に見てもらえる機会が少ない木工業者と、木育のため新しい木製玩具を取り入れたいが予算が限られており購入できない教育・保育施設を繋ぐべく、購入費用を補助する。



【設置した木製キッチン】

□　工夫・留意した点

- 玩具の主体は木製であるが、例えば木製のキッチンであれば蛇口のあるシンクの部分については、木製でない素材も認めたりし、子どもたちがのめり込めるような木製玩具になるよう教育・保育施設との打合せを綿密に行った。

- この事業の制度を簡略化したわかりやすいチラシを作成し、対象の教育・保育施設全てへ木製玩具を導入できるよう周知を行った。

□　取組の効果

- 市内産木製玩具を保育施設に導入することで、子どもの頃から木に接する機会を創出し、木の良さを体感することで、森林の大切さや木材に対する理解を幼いころから深める木育を促進するとともに、市内産木材の認知を教育・保育施設の保護者を通じて広めることで、需要を拡大させる効果がある。

◇　基礎データ

①令和７年度譲与額：73,333千円	②私有林人工林面積（※１）：2,224ha	
③林野率（※１）：38.0%	④人口（※２）：417,496人	⑤林業就業者数（※２）：70人

※１：「2025農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より